

【第3回アジア・太平洋水サミット開催概要】

会 期： 2017年12月11日（月）、12日（火）
開 催 地： ミャンマー（ヤンゴン）、セドナホテル
主 催： アジア・太平洋水フォーラム（会長：森喜朗元内閣総理大臣）
ミャンマー政府

テ ー マ： 持続可能な発展のための水の安全保障

主なプログラム：

- ・ オープニングセレモニー（主催者・各国代表等の挨拶）
- ・ 国際機関等が主催する10のテーマ別セッション
- ・ クロージングセレモニー（ヤンゴン宣言の採択）

＜オープニングセレモニー＞

オープニングセレモニーでは、アジア・太平洋地域各国の首脳級・閣僚級、国際機関の代表等が出席。石井大臣は日本の代表としてスピーチを行った。



オープニングセレモニーでの
石井大臣挨拶の様子

＜テーマ別セッション＞

国際機関等が主催する10のテーマ別セッションが開催され、石井国土交通大臣は3つのセッションに参加してスピーチを行うとともに、日本の自治体等からも講演し、アジア・太平洋地域の水問題の解決に貢献するよう日本の経験や技術を発信した。閉会式においてこれらの議論をとりまとめ、持続可能な開発のための水の安全保障についての道すじを示すヤンゴン宣言が採択された。今回の成果は、平成30年3月にブラジルで開催される第8回世界水フォーラムで発信される。

①気候変動下の水と災害－山岳から島嶼まで－

石井大臣が基調講演を行い、社会全体で常に水災害に備える「水防災意識社会の再構築」の日本の最新施策を紹介するとともに、各国の取り組みを情報交換する「水防災リーダー国際対話」を国連で行うことを提案した。続いてアジア・太平洋の9カ国が水と災害に関する課題と対策を発表し、5つの国際機関の代表者がパネルディスカッションで議論を深め、各国で、水防災プラットフォームを設立する「国際洪水イニシアティブ」を進めることに合意した。

②水循環の再生：雨水利用と持続可能な地下水管理

日本からは熊本市水保全課の永田課長が健全な水循環の取組事例を紹介したほか、水循環政策本部事務局の岡積参事官がパネルディスカッションに参加した。最後に、石井水循環担当大臣がスピーチを行い、アジア太平洋地域の水に関する問題の解決のために、健全な水循環の維持・回復が重要であることを発信した。

③衛生と污水管理の改善

冒頭、石井大臣が挨拶し、2015年に国連で採択されたSDGs（未処理污水の割合を半減）達成等のため、下水道への投資増加など「污水管理の主流化」の必要性をアピールし、アジア太平洋地域の各国に対して、下水道等のハード整備に法制度や人材育成等ソフト面も含めた污水管理の優先課題化を促した。続いて、マレーシア・エネルギー環境技術水省のオンギリ大臣からの基調講演、国土交通省の岡本流域管理官から我が国の下水道整備の経験の紹介のほか、ベトナム、フィリピン、インド等から事例発表があった。日本からは、污水管理に関する各国の知見や経験を共有するための枠組み（アジア污水管理パートナーシップ（仮称））の立ち上げを提案し、参加国の賛同を得た。

※「ヤンゴン宣言」（英語）については、第3回アジア・太平洋水サミットのホームページをご参照下さい。<http://apwf.org/summit/myanmar2017/>



テーマ別セッションでの
石井大臣挨拶の様子（①）



パネルディスカッションの様子
（②）



テーマ別セッションの様子
（③）

【日ミャンマー二国間会談】

(1) アウン・サン・スー・チー国家最高顧問

ミャンマーの更なる発展を加速すべく、ヤンゴン都市開発・都市交通マスタープランに基づく都市開発、都市鉄道、道路、地図、住宅、下水等の分野において意見交換を行い、当該分野における両国の協力関係を強化していくことで認識を共有した。



アウン・サン・スー・チー
国家最高顧問との会談の様子

(2) ヘンリー・ヴァン・ティオ副大統領

ヤンゴン都市開発・都市交通マスタープランに基づく協力及び防災分野、観光分野、ハンタワディ空港、ダウエー開発等の協力について意見交換を行い、引き続き協力していくことで認識を共有した。



ヘンリー・ヴァン・ティオ
副大統領との会談の様子

(3) タン・スィン・マウン運輸通信大臣

鉄道の近代化、都市開発、ハンタワディ国際空港やティラワ港・マンダレー港の整備等における両国の協力のほか、防災協働対話の覚書更新等について意見交換を行い、両国が、インフラ・交通分野において、引き続き協力していくことで認識を共有した。



タン・スィン・マウン
運輸通信大臣との会談の様子

【その他の国との二国間会談】

○ エイミー・コー シンガポール上級国務大臣

気候変動に伴う豪雨災害・高潮被害等に関する共通の課題意識のもと、雨水の利用、下水処理水の利用等について意見交換を行った。



エイミー・コー
シンガポール上級国務大臣との
会談の様子